

※この枠内にアイデアをまとめてください。枠内に記載されたことが公開の範囲です。

アイデア作品説明用紙 (整理番号 1003)

アイデアの名称 SOS携帯担架

①アイデアの説明図

★ 全体図

● ショルダーベルト部

両サイドに立った救護する方の肩にまわします。

- 安全ベルト部 (救護される方が滑り落ちないように体の前面でクロスさせます。そのため、重量が分散され首筋を痛めず救助者にかかる負担が軽減されます。

★ 側面

● ハンドル

救護する方が本体を支えるのに持ちます。

★ 使用図

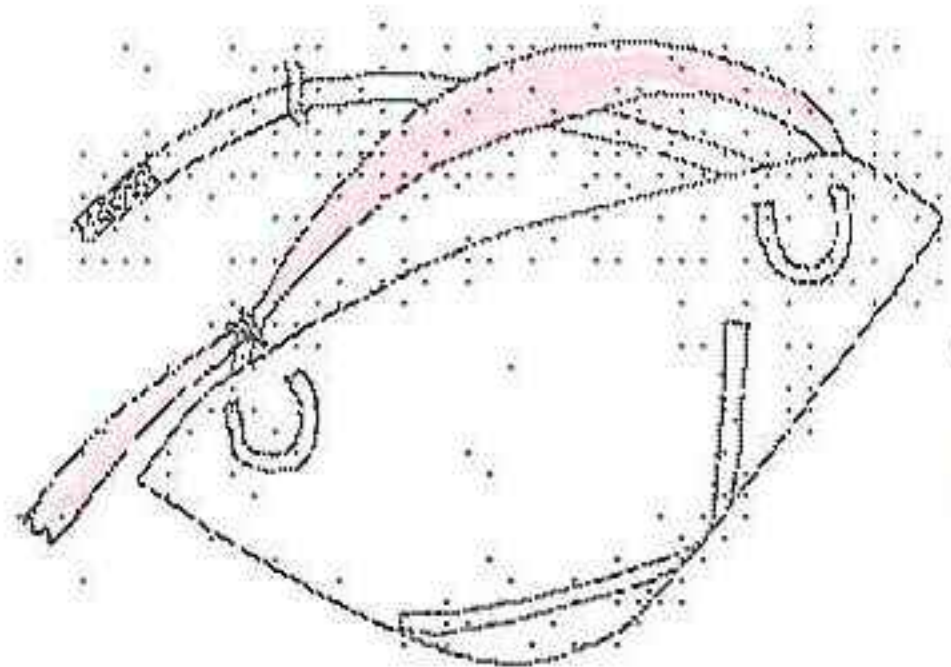
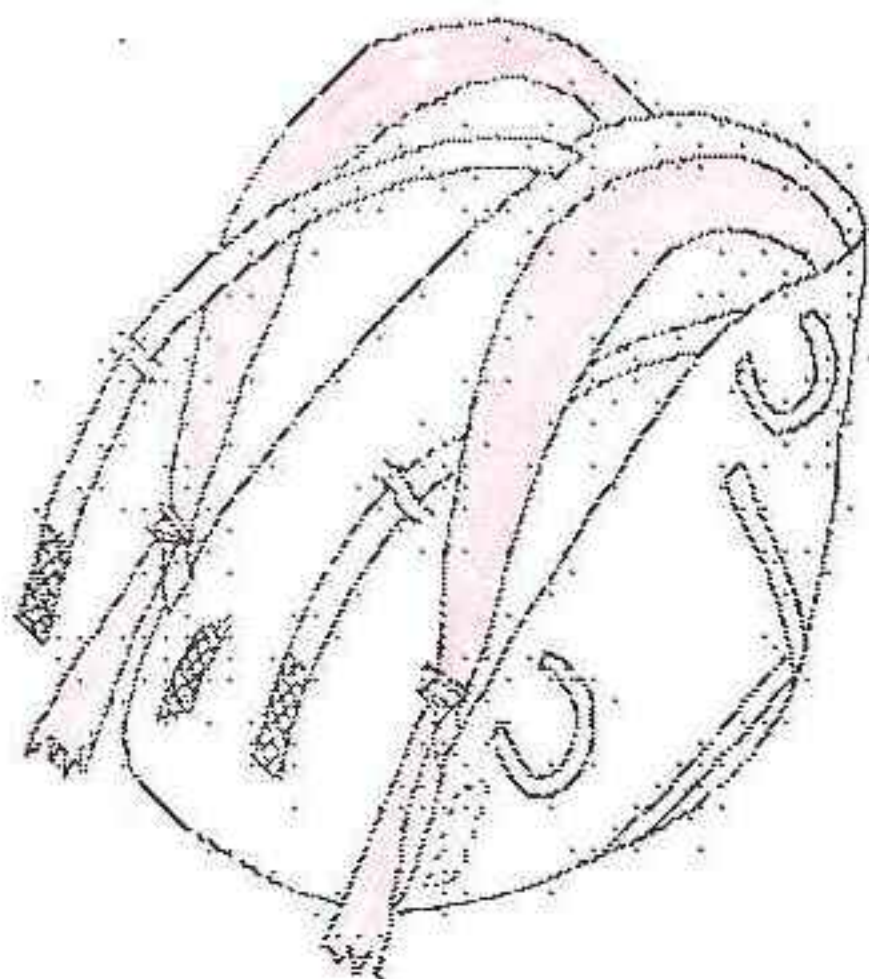
- 大人2名が両サイドに立ち、ショルダーベルトを肩にまわして使用します。

- 1回に運べる人数は1名です。

★ 全体図

★ 側面

★ 使用図



②アイデアの「目的」、「しくみ」、「効果」の説明(300字)

★ きっかけ

緊急時で、エレベーターが使用できない。狭い階段を降りたい。

そのようなとき、少人数で狭い廊下のカーブや階段の踊り場も難なくスムーズに人を運ぶことができないだろうか、と考えたのが「SOS携帯担架」です。

★ 「携帯担架」の特徴

- 斜め掛けに使用するショルダーベルトを幅広くすることにより、肩骨を包み込む形状がポイントになります。

- 座ったままの状態に運ぶことにより、通常のストレッチャーで運べない場所もスムーズに運べます。

- 両サイド2名で支えられ、座ったままの状態に運べます。

救助される人にも安心感があります。

- 救助する人の向きは、向かい合わせでも、一方向でも可能です。

- 本体は、布地でできており、折りたたみ可能で軽量です。

収納スペースもとらず携帯できます。

★ たとえば、こんなときにも

- 車の乗り降りの際、座ったままの状態にスムーズに運べます。

- ベッドから車椅子への移動も楽にできます。

個人情報

【住所】 東京都渋谷区松涛

【氏名】 亀岡 紀代子

【TEL】

(注) 個人情報は、公開できる範囲で書いてください。